

趣 意 書

(神戸大学フィールドホッケー部創部 90 周年記念事業)

六甲台ホッケークラブ
会長 鶴身 邦彦

現在、現役学生は関西学生リーグ(1～3部で全22校)の2部に位置しております。2015/2016には2年連続2部で優勝し、1部との入替戦へコマを進めましたが、1部校との差が歴然であり、入替戦で苦杯を喫しました。

背景には、上位校はすべてが人工芝専用グラウンドを保有し、日々練習していることが挙げられます。また、他の国立大でも、京大と阪大はすでに人工芝練習場を保有し、着々と1部定着あるいは復帰への道を歩んでおります。特にここ数年はその差が徐々に開いてきており、学生たちの日々の努力のみでは、埋めがたい差が出てきていることをひしひしと感じております。

また、一時は存続の危機に瀕したこともあった部員数は、近年学生の努力により徐々に増えてきましたが、土のグラウンドでの練習が中心であり、人工芝に対応した技術の不足は否めません。それを補うべく、有料の人工芝フィールドを求めてバスを使って遠征するなど、学生の負担がかなり増えてきております。そのせいもあってか、入部後の部員定着率もあまり高いとは言えません。

このことから、神戸大学ホッケー部の1部復帰および定着、さらには六甲台ホッケークラブのさらなる飛躍のためには、「大学敷地内での人工芝練習場の確保が絶対に必要である。」との強い思いに至りました。

わが神戸大学フィールドホッケー部は、1929年(昭和4年)の創部以来、本年をもちまして90周年という節目を迎えます。私たちはこの輝かしい歴史の下、学生の自主運営をモットーとし、学業と部活の両立を通しての人間形成を基本方針としてきました。この自主独立の精神を学んで卒業したOB・OGが国内、及び世界で多数活躍しております。また創部70年の1999年にOB・OGおよび現役学生一体での組織である『六甲台ホッケークラブ』を発足させ、現役学生とのコミュニケーションを強固にし、学生の自主運営を支援する体制を強化して来ましたが、当クラブも設立より20周年を迎えます。

創部90周年を迎え、人工芝練習場を設置することで、学生の練習環境の改善のみならず、OB・OGと現役学生との絆をさらに強固に、そして親密にする大きな一歩にしたいと、切に望む次第です。

会員の皆様当該趣旨にぜひともご賛同いただきますようお願い申し上げます。

事業計画

1. 神戸大学フィールドホッケー部へ創部90周年記念となる以下の施設を寄贈する。
人工芝練習場新設 完成目標：2019年度末
(人工芝練習場の内容については別紙①を参照ください。)
2. 施設寄贈のために、相当額の基金を募集する。

以上